

【令和2年度評価委員会 評価委員からのコメント】

評価項目番号①

- ・大学院教育コースは、検討されているさまざまな工夫や対策を講じて、ぜひ全プログラム・コースで5年間の養成目標人数を達成できるように努力していただきたい。
- ・教育コースの企画運営では、がん専門看護師の育成が少ない。

評価項目番号②

- ・実績の低い大学があり、残念。

評価項目番号③

- ・コロナの影響があり、評価をBとした。

評価項目番号④

- ・市民公開講座やウェブサイトなど道民に対するがんプロの発信力がまだまだ弱いと思う。積極的な情報提供に努めてほしい。特に、市民公開講座や「患者のためのコロナウイルス対策」などの情報は、外部評価委員にも知らせるなどあらゆる手段を講じて広げることが必要ではないかと考える。
- ・コロナの影響が大きかったとは思いますが、中止としたことは残念。実施した大学はユーチューブを活用していて素晴らしい。

評価項目番号⑤

- ・市民公開講座やウェブサイトなど道民に対するがんプロの発信力がまだまだ弱いと思う。積極的な情報提供に努めてほしい。

評価項目番号⑦

- ・コロナ感染症の影響で大変な年だったと思います。その中でも前進できているのはすばらしいと思います。
- ・新型コロナウイルスという予想し得なかった事態の中でも、さまざまな事業を展開できたと思います。オンラインの積極的に活用し次年度はさらなる事業の展開を期待しています。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響がどの程度及んだのか判断しにくいところもあるが、全体としては、計画したレベルを保ったと考えます。